

第6学年1組 図画工作科学習指導案

豊明市豊明小学校 教諭 小崎 真

1 題材名 誰がポスターを破ったの？（鑑賞）

2 日時・場所 平成16年9月15日（水） 第1時間目 6の1教室

3 ねらい

- ・作品に描かれた内容をもとにして、自分の感じたことを大切にしながら、意欲的に読み取ろうとすることができる。
- ・一人一人が作品から感じ取ったことを仲間同士で認め合いながら、作品の読みを深めることができる。
- ・国吉康雄の他の作品を、意欲的に鑑賞しようとするすることができる。

4 題材観

高学年になると、作品の中から「〇〇が描かれている」と対象を見つけ出すだけでなく、「なぜそのような描かれているのだろう」という表現の意図を考えて鑑賞することができるようになる。そのため、色や形や質感という造形要素や、子どもたちが個々に持っている経験や知識をもとにして、作品を読み取っていくことができる。

そこで、本題材では国吉康雄の『誰かが私のポスターを破った』を取り上げることにした。この作品は、中央に女性が憂鬱な表情で描かれ、背後に破られたポスターが描かれている。このポスターに描かれた「人物」がポイントになってくる。この人物の手が力強く描かれているため、女性よりも飛び出して見えるほどである。そのため、子どもたちの中には、女性の後ろに「本物の人がいる」と感じ取る意見が見られた。しかし、画面の中央左に描かれた「紙がめくれている表現」から、絵が貼ってあることが理解できるであろう。つまり、国吉はポスターを単なる背景としてではなく、あたかも生の人間がそこにいるように描いていると言える。

国吉は、この作品を制作した当時アメリカに在住しており、敵性外国人として扱われた。多くの在米日本人が収容所へ送られていく中、国吉はファシズムを批判することで、アメリカでの自分の立場を守っていった。さらに、国吉は、日頃都会の片隅で働く労働者を描いたベン・シャーンとも交流があった。破られたポスターは、ベン・シャーンが描いた、ファシズムに屈指した労働者の姿なのである。そのポスターが破られたということは、ファシズムはもちろん、戦争を陰で推し進めている資本家全体を批判しているとも考えられる。つまり、国吉はポスターを破られた状況にしたり、顔をはっきり見せないようにしたりすることで、自分の主題を隠し込むような形で表現しようとしたと読み取ることができる。そして、女性の憂鬱な姿は、当時の社会情勢の中で、アメリカと日本の2つの国の間で引き裂かれそうになる国吉の姿そのものであると想像される。

そこで、今回焦点化していきたいのは、「背景は本物が絵か」という点である。子どもたちの気づきの中で、背景を見て「実際に向こうに人がいる」とする意見と、「絵、あるいはポスターが破れている」とする意見の2つに分れた。この2つの意見を取りあげていくことで、子どもたちの考えを揺さぶり、より深い読みへと導くことができるのではないかと考えた。

5 指導計画（3時間完了）

① 出合いの段階

- ・作品から見つけたことや感じたことをたくさん書き出そう（1時間）

② 交流の段階

- ・作品から見つけたことや感じたことを話し合い、作品のなぞにせまろう（本時）

③ 主体的に鑑賞する段階

- ・国吉康雄の他の作品も見てみよう（1時間）

6 本時の指導

（1）本時の目標

『誰かが私のポスターを破った』から見つけたことや感じたことを具体的に取り上げながら話し合い、作品の読みを深めることができる。

（2）準備

- 児童・・・ワークシート、作品の縮小したコピー
- 教師・・・作品を拡大コピーしたもの、ワークシート

（3）指導過程

	学習内容	児童の活動	教師の支援 ○評価
	この作品には、何が描かれているか考えていこう。		
交流の第一段階	○作品から気がついたことを発表する。	ア 女の人についての意見 ・暗い顔をしている。 ・悲しそう。 ・くやしそう。 ・頭の上に大きな手がのっている。（実際は帽子） ・たばこをすっている。 ・手すりにこしかけている。 イ 後ろの様子についての意見 ・後ろの人が、家の戸をたたいている。（実際は看板） ・手をあげて「助けて」と言っている。 ・壁が破れていて、向こうに人がいる。 ・3人の人がいる。	・見つけたり、感じたりしたことは全部正しいということを話し、発言に自信を持たせたい。 ・意見に対しては必要に応じて「なぜそう思ったの？」と問いかけ、できるだけ理由を言わせたい。描写に注目させたい時は、「この絵のどの部分からそう感じたの？」と問いかけたい。 ・子どもが想像した理由を認めながら、自由に発言させていきたい。発言した内容については、ほめて認めていきたい。
描かれた内			

<p>容を自由に読み取る</p> <p>20分</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・絵が破れている。 ウ 飛んでいる人についての意見 <ul style="list-style-type: none"> ・小さな人が飛んでいる。 ・天使だと思う。 ・笑っている。 ・楽しそう。 ・この小さな人が絵を破っているように見える。 ・女の人をたたこうとしているように見える。 ・画びょうで止めてある。 ・ロボットみたい。 エ 色調について <ul style="list-style-type: none"> ・暗い感じがする。 ・ざらざらっとした感じがする。 オ 作者や作品について <ul style="list-style-type: none"> ・「Kuniyoshi」と書いてある。 ・どこかで見たことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言内容を整理しながら板書を進める。 ○作品について、自分が感じ取ったり、見つけたりしたことを意欲的に発表することができたか、発言の様子から判断する。
<p>交流の第二段階 描かれた内容を深く読み取る</p> <p>20分</p>	<p>○破れたポスターについて考える。</p> <p>○授業の振り返りをする。</p>	<p>後ろの部分には本当に人がいるのだろうか、それとも絵なのだろうか。</p> <p>本当に人がいるという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物の手だと思う。力強くて本物みたいに描かれているから。 ・壁が破れていて、向こうに人がいるように見えるから、本当に人がいると思う。 <p>絵（ポスター）という意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面の左下がめくれあがっているから、絵だと思う。 ・右下にテープでとめてあるように描いてあるから、絵だと思う。 ・文字が書いてあるから、ポスターだと思う。 <p>後ろには人々のどんな様子が描かれているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ばんざい」って喜んでいる。 ・「手を挙げろ！」って言われて「降伏します！」って手をあげている。 <p>どうしてポスター（絵）が破られたのだろう。だれが破ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このポスターをよく思っていない人が気に入らないから破った。破ったのは、この女の人をよく思っていない人。 ・飛んでいる人が、ポスターの内容がいやだったので破った。 <p>女の人なぜ悲しんでいるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が大切にしているポスターが破られてしまったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の後ろのポスターの部分は、女性以上に存在感のある描写があるので、本物の人のように受け取る意見が予想される。 ・本当に人がいるように描かれていることを抑えたい。 ・意見を認めながら、理由を具体的に言わせていきたい。 ・手の表情、後ろ向きの様子から、絶望感を感じ取らせたい。 ・絵が意図的に破られたのかを示すために、この作品の題名が『誰かが私のポスターを破った』であることを紹介する。 ・戦争の時代を想像させるために、この作品が制作された年（1943年）を紹介する。 ○自分の考えを意欲的に発言し、友達の意見を聞いて、違う考え方に気づくことができたか、発言内容と表情から判断する。
<p>まとめる</p> <p>5分</p>		<p>今日の授業で感じたことを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は絵が破れているとは気づかなかったけど、みんなの意見を聞いて絵の内容がわかってきたのでよかった。 ・国吉さんのことをもっと知りたいし、ぜひ本物の作品を見てみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに授業の感想を書かせる。 ・よい気づきをしている子の意見を発表させる。 ○作品に対する自分の考えを深めることができたか、ワークシートの内容から判断する。

(4) 評価

『誰かが私のポスターを破った』の主題や、作者の思いについて、考えを深めることができたか、発言内容、ワークシートのことばから判断する。